

# 2026年3月期 決算説明資料

2026年5月

コンピューターマネージメント株式会社

証券コード:4491



■ 事業概要	2
■ 2026年3月期 連結業績	7
■ 2027年3月期 連結業績見通し	12
■ 当社の強みと成長戦略	16
■ サステナビリティへの取組み	24
■ APPENDIX	28

A decorative horizontal band consisting of a checkerboard pattern of light blue and white squares. The text "事業概要" is overlaid on the left side of this pattern.

# 事業概要

# 会社概要

当社は顧客の経営課題をITで解決する独立系ITソリューションプロバイダーです

## 基本情報

会社名	コンピューターマネージメント株式会社
設立	1981年11月
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場 (2020年3月11日上場)
証券コード	4491
大阪本社	大阪市北区梅田1-13-1 大阪梅田ツインタワーズ・サウス19F
東京本社	東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング9F
従業員数	754名(2026/3期 連結)
関連会社	ノックス株式会社

## 代表者



代表取締役社長

竹中 英之

*Hideyuki Takenaka*

2008年 当社入社

2011年 インフラ部門 部長就任

2024年10月 代表取締役社長就任

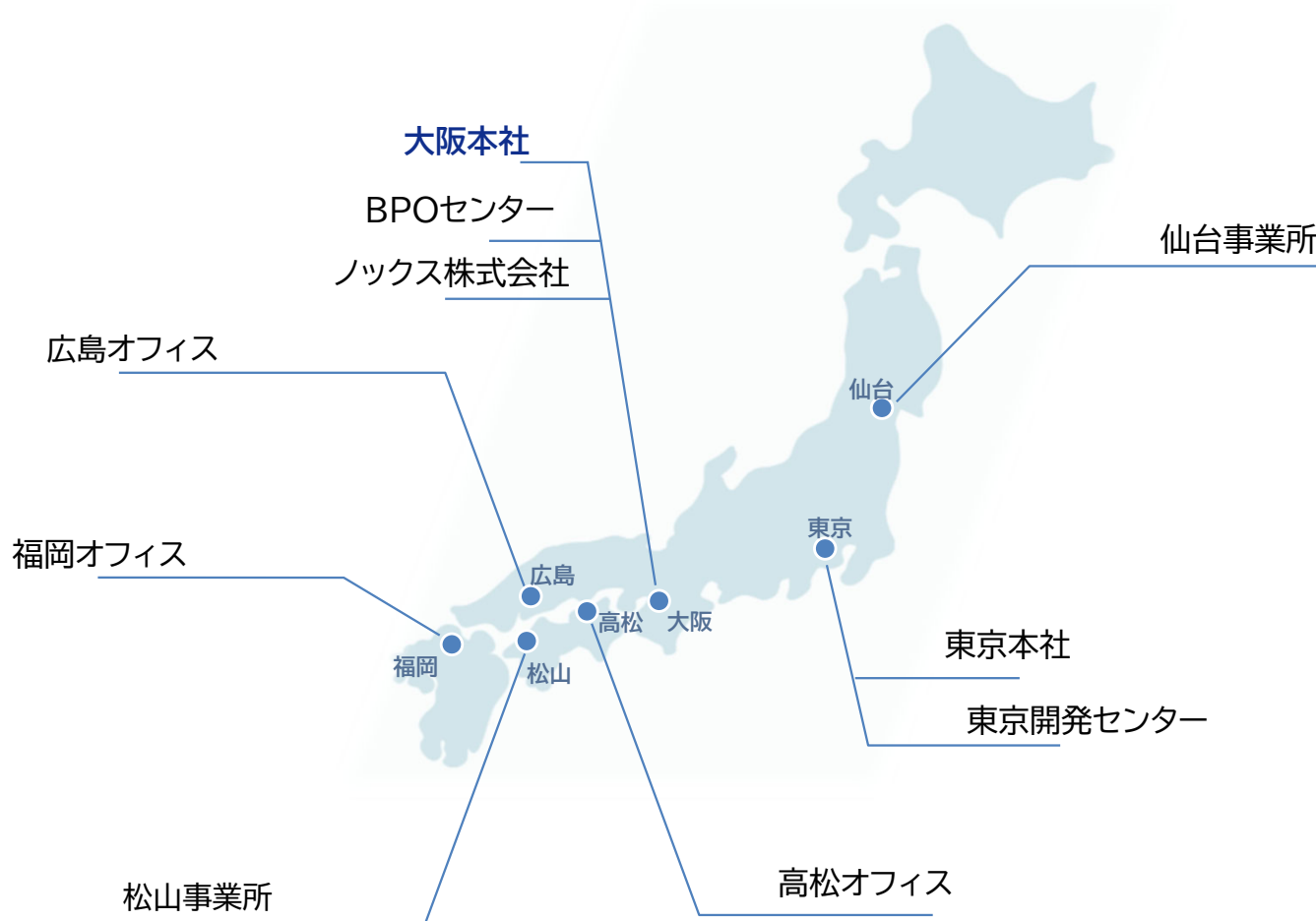
## 社是

人間性の追求 *~ Pursuit of the Humanity ~*

社会に役立つ結果を導き出すのは、豊かな人間性にほかなりません。  
従業員一人ひとりが自らの人間性を追求し、人格を高めることで、  
より社会に必要とされる企業に成長することが当社の望みです。

## 事業拠点

現在、国内7エリアに9つの事業拠点を設置、全国展開を可能としています



連結従業員数

754名

(2026/3期)

3つのソリューションでさまざまな顧客のシステム開発から導入までワンストップでご支援



インフラソリューション



ゼネラルソリューション



ERPソリューション









## 3つのワンストップサービスを提供

- 1 インフラ基盤構築からBPOまで3つのソリューションであらゆるシステム課題にワンストップで対応
- 2 コンサルティング(上流)からヘルプデスク(下流)までプロジェクトをワンストップでご支援
- 3 業務効率化からDX、最先端の技術支援まで顧客のビジネス課題をワンストップでご支援

CMKワンストップソリューションサービス

# 事業概要

## 各ソリューションの特長

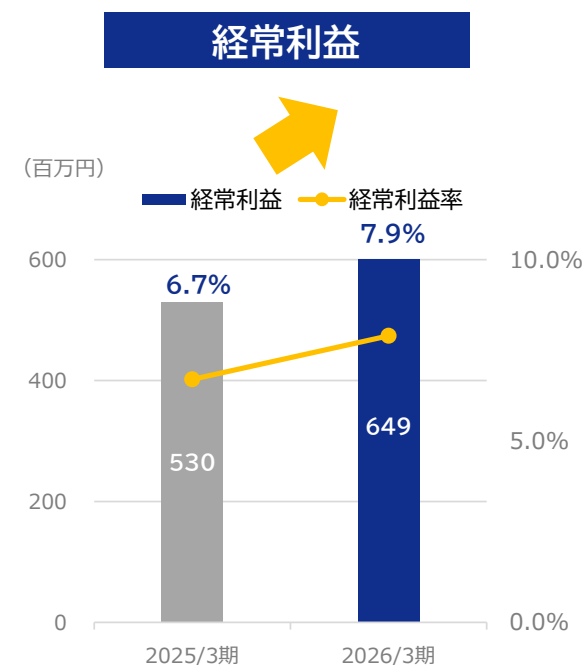
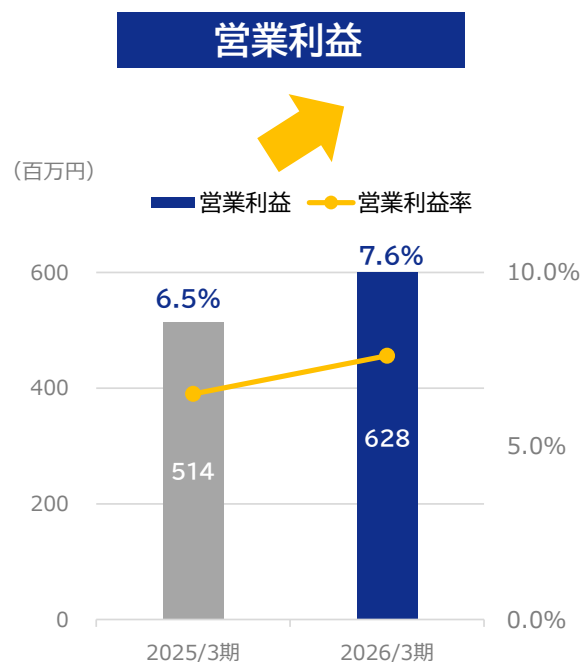
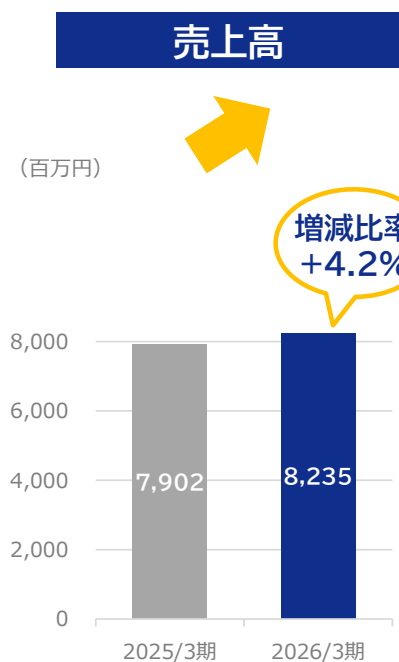
	インフラソリューション	ゼネラルソリューション	ERPソリューション
サービス内容	インフラ環境構築支援	システム開発支援 業務支援ツール導入支援 BPOサービス	ERP(統合基幹業務パッケージ) 導入支援
サービス詳細	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー構築、運用保守支援</li> <li>・NW構築、運用保守支援</li> <li>・DB構築支援</li> <li>・AWS等クラウド環境構築支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種業務システム開発支援</li> <li>・データ連携基盤開発支援</li> <li>・WF, BIツールなどの導入支援</li> <li>・ヘルプデスク、キッティング支援などのBPO支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SAP S/4HANA導入支援</li> <li>・SAP cloud ERP 導入支援</li> <li>・SAP AMOサービス</li> <li>・mcframe7, X 導入支援</li> <li>・奉行シリーズ導入支援</li> </ul>
パートナー/ アライアンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AWS認定 セレクトパートナー</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DreamArts社 公認パートナー</li> <li>・WingArc1st社 アソシエイトパートナー</li> <li>・IBM社</li> <li>・Solace社</li> </ul>      	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SAP PartnerEdge Service</li> <li>・mcframe エンジニアリングパートナー</li> <li>・OBC OAP Platinumパートナー</li> </ul> 

様々な業種・業務のIT活用を支援

# 2026年3月期 連結業績

# 2026年3月期 連結決算の概要

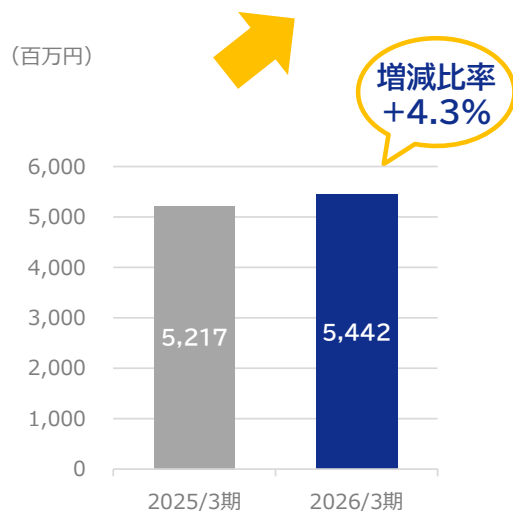
- 売上高はエンドユーザー案件を中心に、ノーコード・ローコード開発案件・DX案件の拡大などにより前年を上回り、過去最高を更新
- 利益は売上高増および上流工程へのシフトによる単価向上を背景に売上総利益が増加  
人材育成投資等の増加を吸収し、営業利益・経常利益ともに過去最高を更新



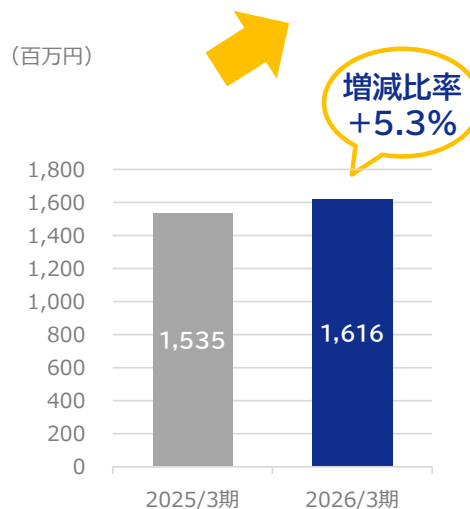
# 2026年3月期 サービスライン別売上高

- ゼネラルソリューション: エンドユーザービジネスが拡大、ノーコード・ローコード開発案件の増加により増収
- インフラソリューション: クラウド構築案件や上流工程案件の受注増により増収
- ERPソリューション: コンサルティング案件を主とした上流工程へのシフトや、製造業向けmcframe案件受注拡大などにより増収

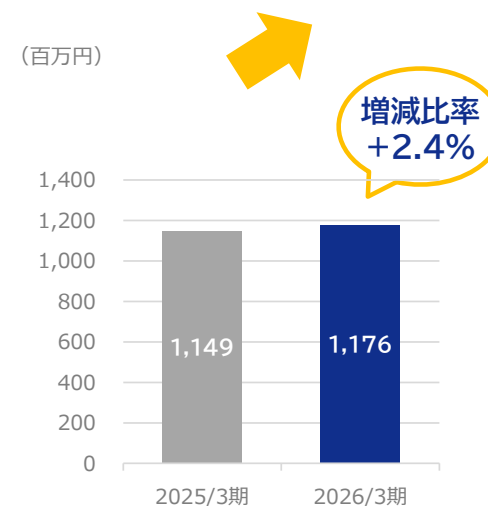
## ゼネラルソリューション



## インフラソリューション



## ERPソリューション



# 2026年3月期 連結バランスシートの状況

(百万円)

	2025/3期	2026/3期		増減理由
			前期比増減額	
流動資産合計	4,399	4,790	+390	現金及び預金 +239 売掛金 +59
固定資産合計	737	937	+200	仕掛品 +94 投資有価証券 +182 保証金 +19
資産合計	5,136	5,727	+590	
流動負債合計	988	1,189	+200	未払金 +139 未払費用 +14
固定負債合計	568	387	▲180	未払法人税 +32 長期未払金 △140 退職給付に係る負債 △39
負債合計	1,556	1,577	+20	
純資産合計	3,580	4,150	+570	利益剰余金 +410 その他包括利益累計額 +158
負債・純資産合計	5,136	5,727	+590	

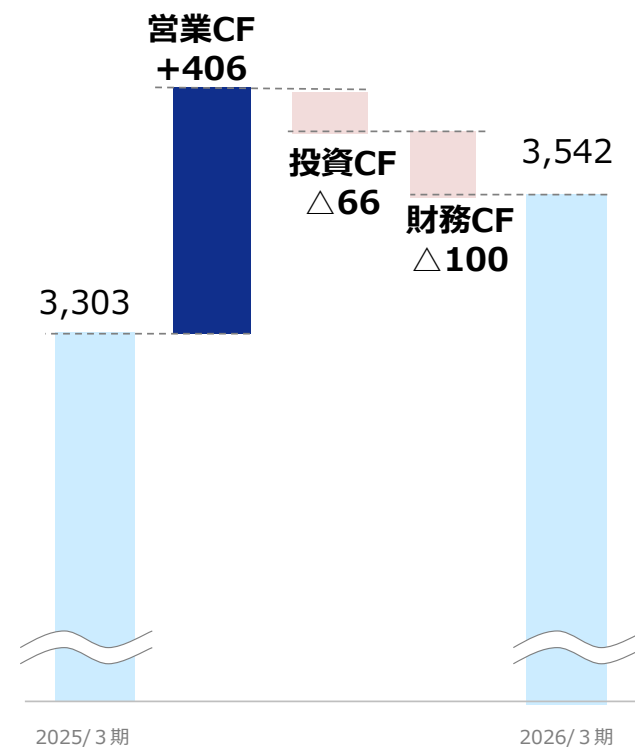
# 2026年3月期 連結キャッシュフローの状況

- 営業CF:事業は堅実、売掛金と仕掛品の増加で減少
- 投資CF:東京開発センターの拡大移転の要因で減少
- 財務CF:配当金の支払い増加により減少

(百万円)

	2025/3期	2026/3期
営業CF	482	406
投資CF	△10	△66
財務CF	△81	△100
現金及び現金同等物の期末残高	3,303	3,542
FCF	471	339

\* FCF=営業CF+投資CF

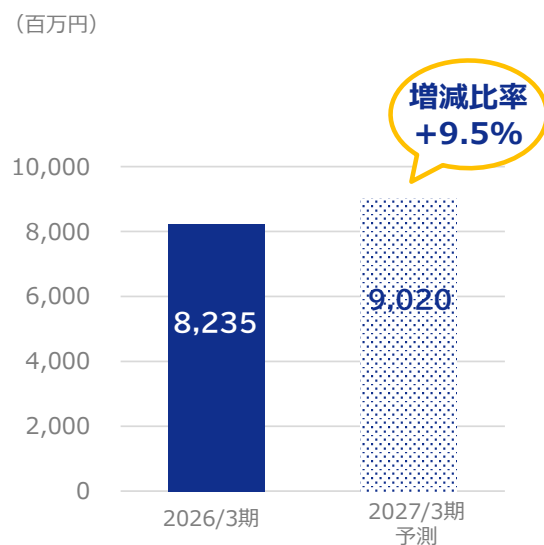


# 2027年3月期 連結業績見通し

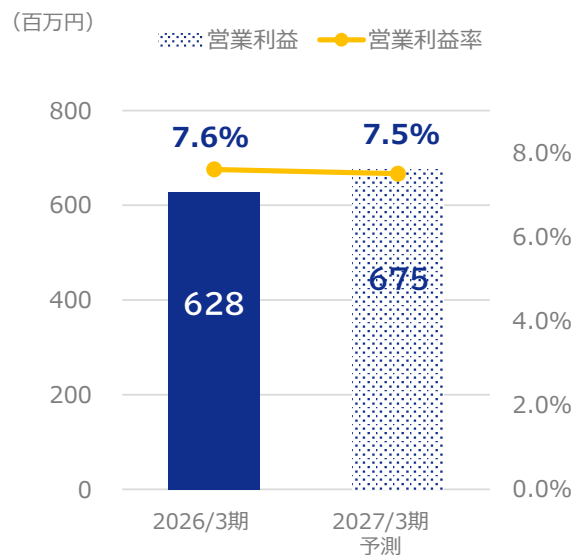
# 2027年3月期 連結業績見通し

- 売上高は引続き上流工程業務の拡大、エンドユーザー比率引上げに注力し、前期比9.5%の増収を見込む
- 経常利益はコンサル案件などの高収益案件への取組み強化、既存案件の取引条件の見直しを行い、前期比7.3%の増益を見込む

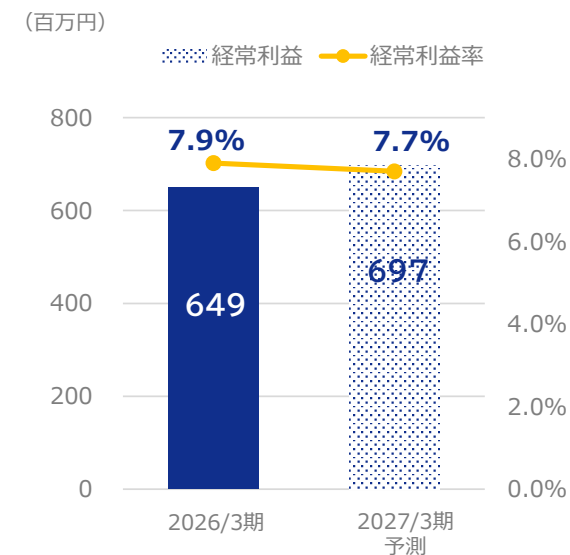
## 売上高



## 営業利益



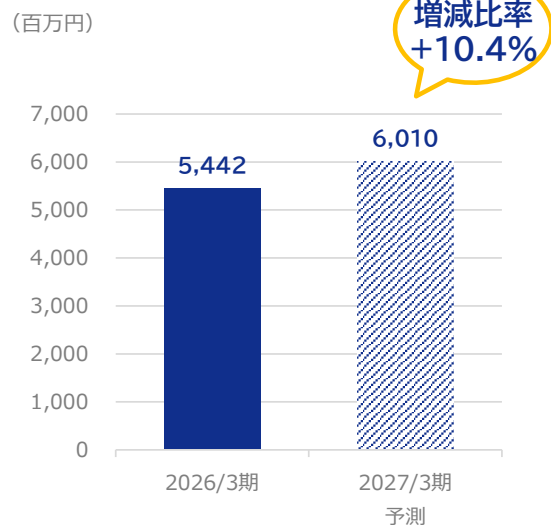
## 経常利益



# 2027年3月期 連結業績見通し サービスライン別売上高

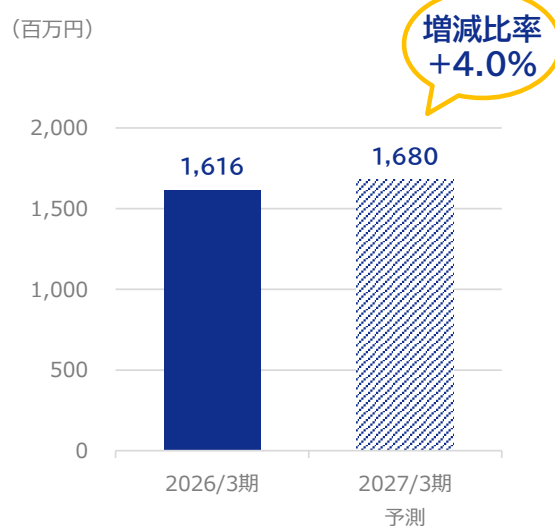
## ゼネラルソリューション

- アライアンス・新サービスの拡充によるAI領域強化
- コンサルティング領域拡大によるエンドユーザービジネス強化
- ワンストップソリューション推進によるBPOビジネス拡大



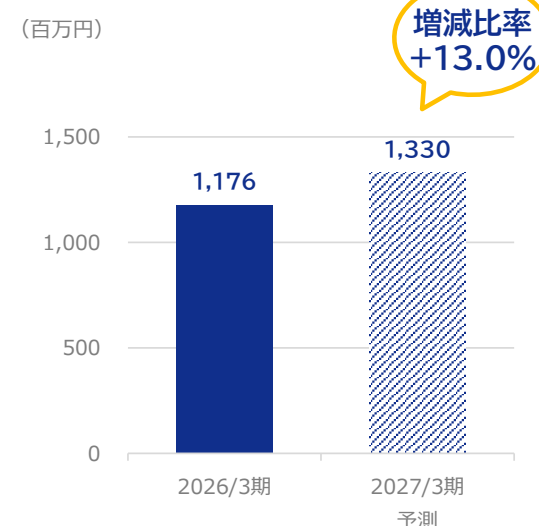
## インフラソリューション

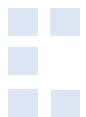
- 独自サービス展開によるエンドユーザービジネス強化
- クラウド環境構築案件の拡大
- コンテナ、サーバーレス等の先進技術案件拡大



## ERPソリューション

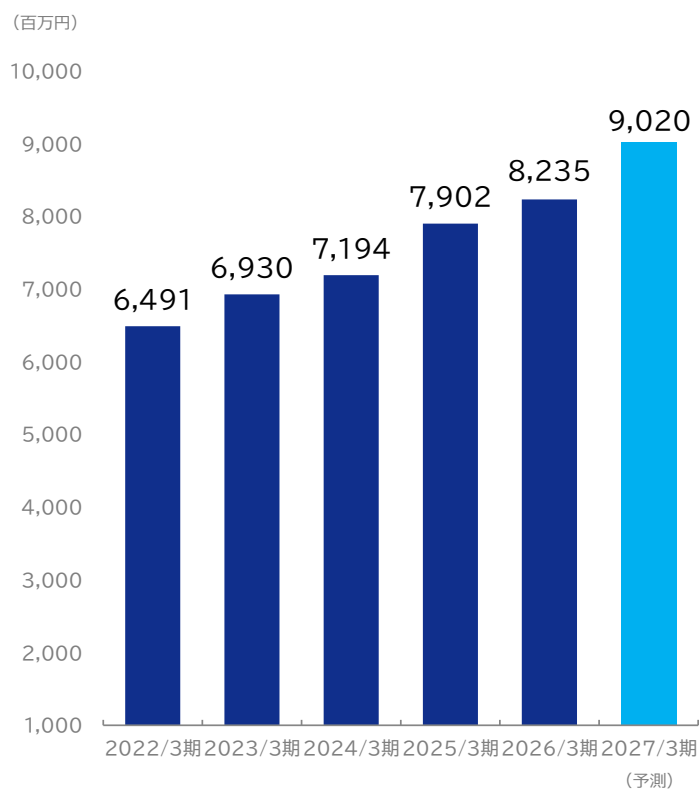
- クラウドERP領域を軸としたエンドユーザービジネス強化
- コンサルティング領域を中心とした上流工程シフト
- 独自サービス展開によるAMOサービス拡大



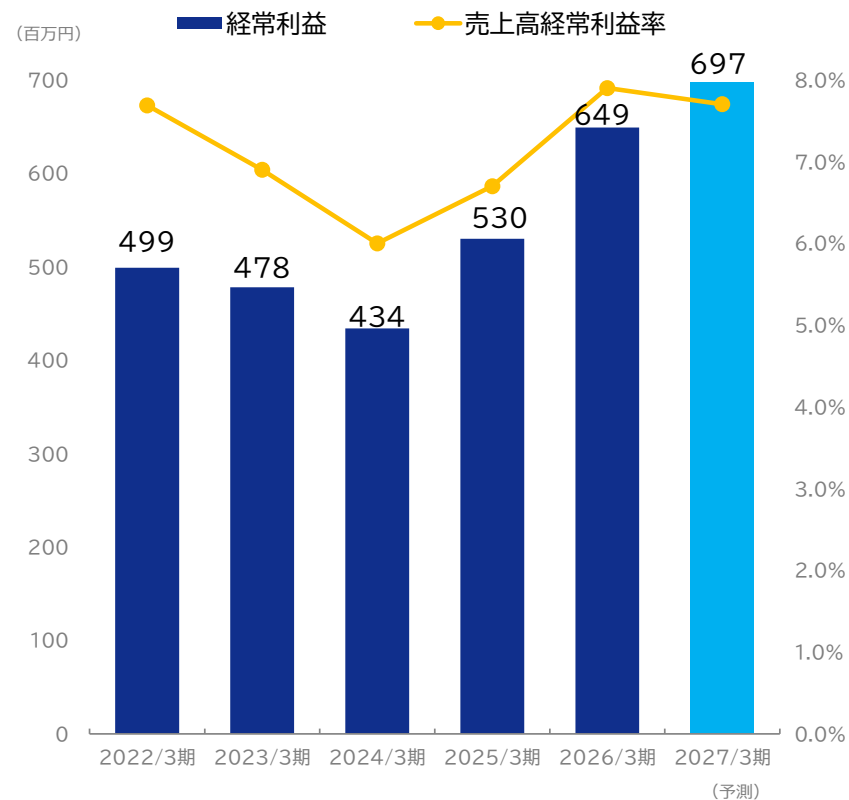


# 業績ハイライト

## 連結売上高の推移



## 連結経常利益・売上高経常利益率の推移





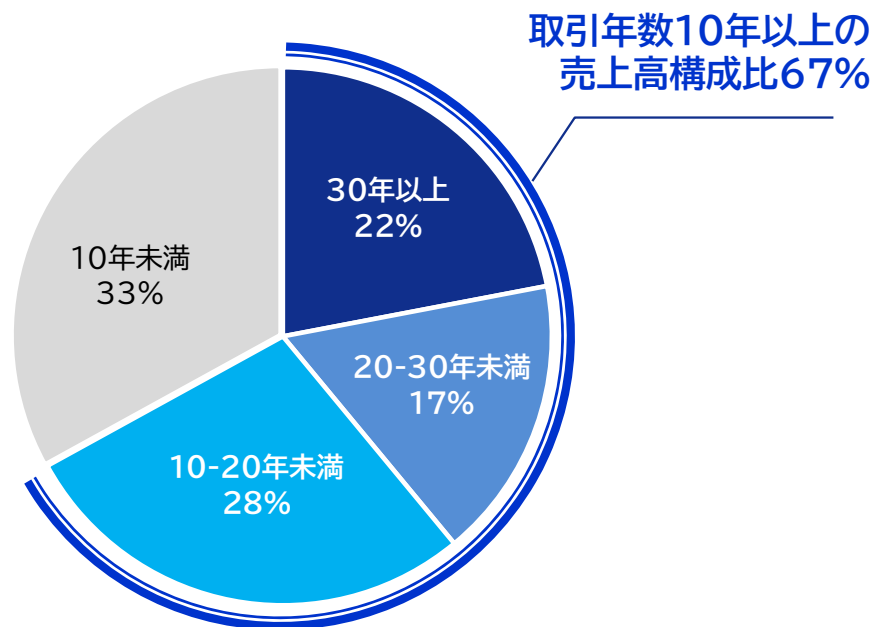
## 当社の強みと成長戦略

# 成長を支える安定収益基盤

## 顧客との長期取引実績

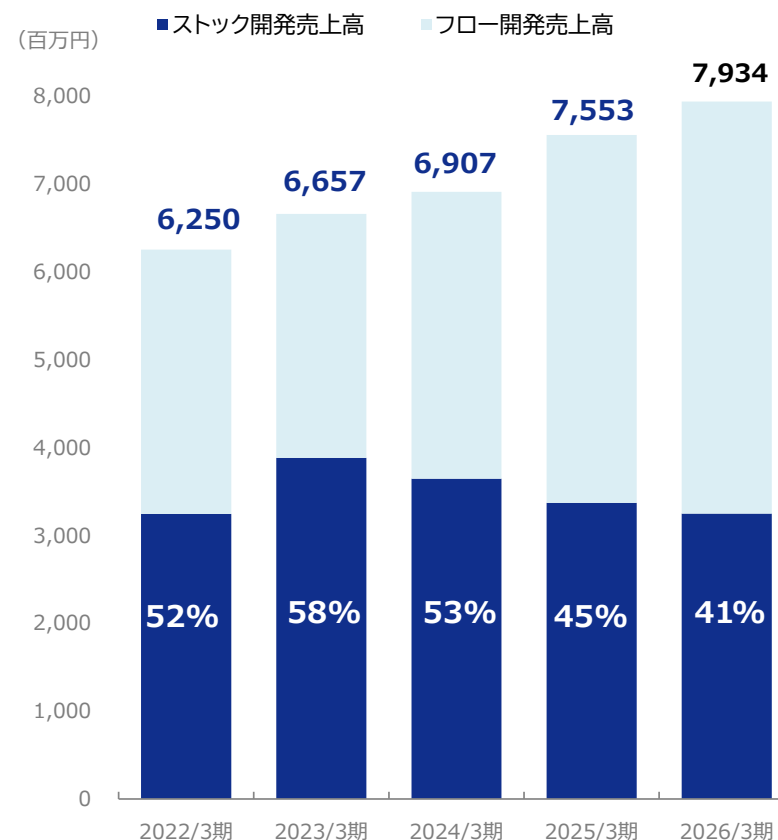


取引年数別売上高構成比 (2026/3期 単体)



伴走型支援による強固な信頼関係を構築

## ストックビジネスによる安定収益基盤

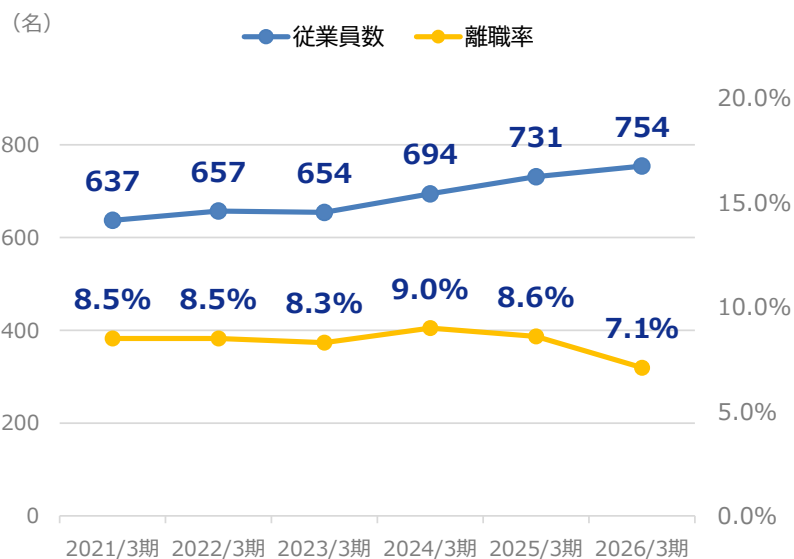


注: ストックビジネスは、継続的な取引が見込まれる開発業務、運用・保守・サポート業務、ヘルプデスク、オペレーション業務、ASP等を対象としています。

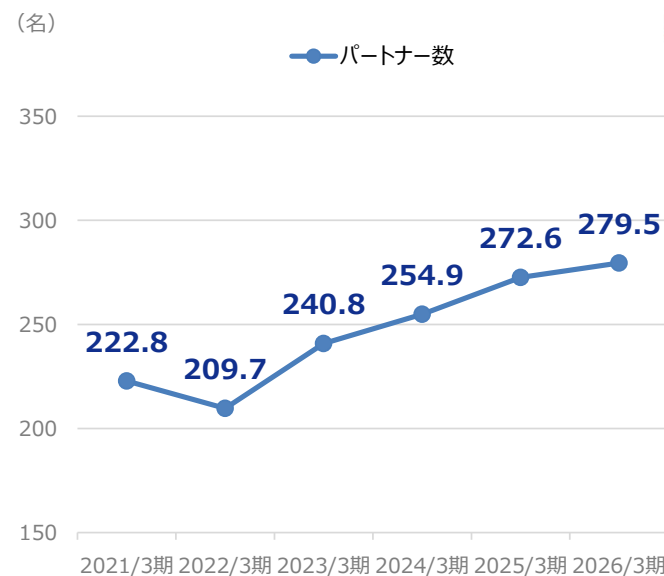
# 積極的な人材投資により確保された動員力

- 従業員数は採用強化策の実施と退職抑制策の効果で、前期比23名増と安定的な人員数拡大が実現
- パートナー数は、案件情報の共有等、パートナーとの連携強化を実施した結果、平残ベースで前期比7名増

## 従業員数と離職率(3年移動平均)の推移



## パートナー数(平残)の推移



## エンドユーザービジネスを軸とした事業拡大

### 全社での顧客区分別売上高構成比

エンドユーザー	38%
ITメーカー	21%
SIer	41%

### エンドユーザーの東西エリア比率

西日本エリア	69%
東日本エリア	31%

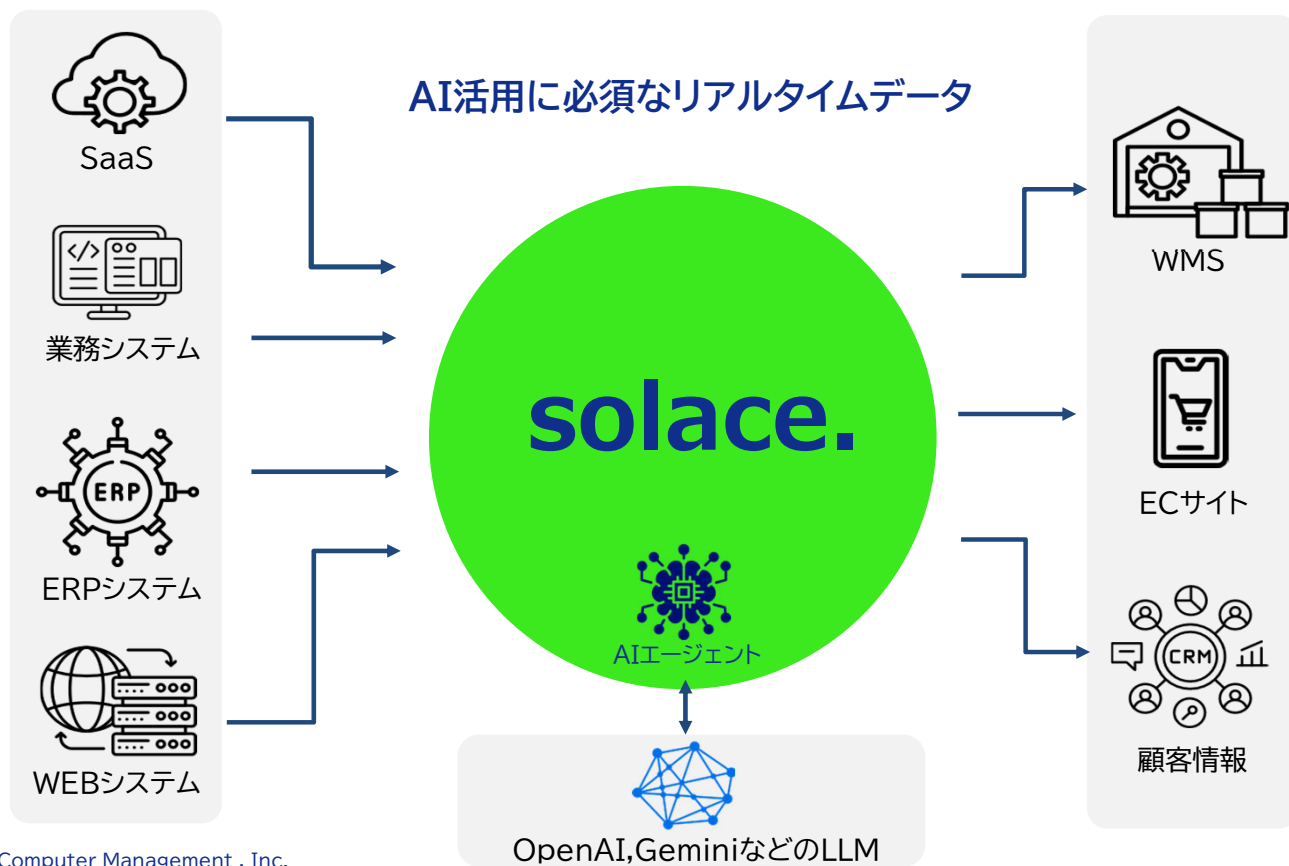
2026年3月期  
新規エンドユーザー数 **14社増**

展示会出展やアライアンスの推進により  
新規エンドユーザー取引を着実に拡大  
東日本エリアの営業を強化し、  
エンドユーザービジネスのさらなる拡大と  
構成比の向上を目指す

# AI×アライアンスによる価値創出の強化

新たにsolace社とパートナーシップを提携

エージェント型AI向けプラットフォーム「Solace Platform」でリアルタイムデータ連携を実現



## リアルタイム×AIエージェント

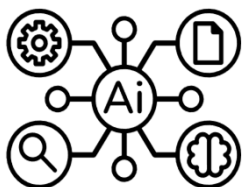
### 活用事例

- ✓ 受発注、在庫情報の即時反映
- ✓ 異常リアルタイム検知
- ✓ 業務プロセスの自動実行

# AIを軸とした成長戦略 3つの柱

エンドユーザーおよびSIer向けAI活用・開発支援の実績を基盤とした事業拡大

## AIコンサルティングによる価値創出支援



リアルタイムデータ連携を基盤にRAG構築を含むAI活用とノーコード・ローコード開発を組合せ、業務効率化から新たな価値創出まで、一貫したAI活用を支援

## AIを軸とした高度IT人材の育成



育成プログラムを通じ、先進技術領域に対応可能なエンジニア育成を推進、技術力の底上げと提供価値の向上を実現

## AI活用による開発業務の高度化



開発工程にAIを活用し、開発リードタイムの短縮とコスト最適化を実現、品質の安定化や迅速な要件対応など、顧客価値の向上に貢献

# 独自サービスの展開

エンドユーザーへの伴走型支援のノウハウをもとに、各ソリューションで独自サービスを提供

## サービスラインナップ

### 「ITあんしんサポート」

Excelからシステム開発まで  
**なんても相談OK!**  
SE伴走型の課題解決支援サービス

ひとり情シスや少数数の情シス部門を支援するSE伴走型支援

こんなお悩みありませんか？

- ITのトラブルが頻発して業務が止まる
- Excelの使い方を教えてほしい
- システム開発のアドバイスをほしい

### 「情シス支援サービスBPOレンジャー」

情シス部門の人手不足・人材不足を一気に解決

情シス支援サービス  
**BPOレンジャー**

情シス部門がコア業務に注力できる環境づくりを支援

### 「CMK AMOサービス for SAP(CASS)」

情報システム部のSAP保守・運用課題を解決！

★新サービスリリース

CMK AMOサービス for SAP (CASS)

SAP保守・運用業務をアウトソーシング、リソース不足や属人化の解消を支援

### 「クラウド導入支援サービス for AWS」

クラウド導入支援サービス for AWS

CMK AWSテンプレート + SE伴走支援でクラウド化を短期間に実現

AWS構築を計画から構築まで実績豊富なプロが支援

### 「パソコンおまかせサポート」

社内で発生するパソコンに関する問い合わせをまるっと解決

パソコンおまかせサポート

総務部門や情シス部門の社内PC対応業務をトータルに支援

- 月額定額制
- 問合せ回数無制限
- 幅広いサポート範囲

## 導入メリット 一例

-  ITのプロに相談可
-  課題整理支援
-  利用ユーザーの満足度向上
-  属人化の解消
-  ドキュメント化の推進
-  中長期で伴走

# 中長期的な基本方針

収益規模

経営基盤の強化

既存領域の強化

ビジネスモデルの変革

『全てのステークホルダーを意識した  
事業展開を行い、顧客に選ばれる企業へ』

- ・ワンストップソリューションサービスの拡大
- ・エンドユーザービジネスの拡大
- ・新たな領域、ビジネスモデルの創出

- ・独自サービス、アライアンスの強化
- ・コンサルティング案件の受注拡大
- ・品質の更なる向上とマネジメント力の強化

- ・組織体制の強化
- ・労働分配率の向上
- ・人的資本経営に向けた取組み推進

成長イメージ

- インフラソリューションサービス
- ゼネラルソリューションサービス
- ERPソリューションサービス

時間



## サステナビリティへの取組み

# マテリアリティ目標の特定

重要課題	取組方針	指標・目標 (2030年度)
1. 気候変動への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用電力の削減</li> <li>ペーパーレス化</li> <li>グリーン調達への推進</li> <li>リモート会議による出張の削減</li> <li>官民連携の脱炭素活動への参加</li> </ul>	温室効果ガス排出量 (Scope1,2) <b>20%削減</b> (2022年度比) 
2. ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョン	<ul style="list-style-type: none"> <li>職場での全ての女性・男性の公平な待遇の実現</li> <li>事業のグローバル化を見据えた国際的な人材の採用推進</li> <li>シニア層や障がい者が能力を發揮できる職場環境づくり</li> </ul>	採用に占める女性の比率 <b>40.0%</b> 従業員に占める女性の比率 <b>30.0%</b> 管理職 (課長級以上) に占める女性の比率 <b>30.0%</b> 従業員に占める外国籍従業員の比率 <b>3.1%</b> 従業員に占めるシニア層の比率 (60歳以上) <b>3.1%</b> 従業員に占める障がい者の比率 <b>2.5%</b> 育児休業の取得率 <b>100%</b> 男性従業員における育児休業の取得平均期間 <b>30日以上</b> 
3. 人的資本経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>時短および有休取得の推進によるワーク・ライフ・バランスの向上</li> <li>メンタルヘルス、健康維持支援などウェルビーイングの実現</li> <li>従業員のスキルアップ支援</li> <li>「パートナーシップ構築宣言」への登録</li> </ul>	有給休暇の取得率 <b>100%</b> 時間外労働の削減 <b>20%</b> (2022年度比) 教育研修費 <b>200%</b> (2022年度比) 
4. 品質・セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>品質委員会による品質向上管理</li> <li>情報セキュリティ委員会によるリスク管理</li> </ul>	第三者認証の維持 第三者認証の認定取得 ◆ ISO9001 ◆ CMMI Level2 ◆ ISO/IEC27001 ◆ プライバシーマーク ◆ CMMI Level3 

持続可能な社会の実現



**企業理念**

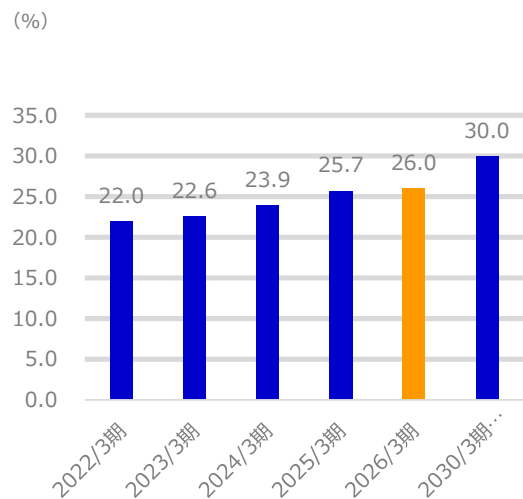
**サステナビリティ経営方針**

当社グループは、ソフトウェアという無形の財産を世に送り出している企業です。現在のような高度情報化社会において、ソフトウェアは武器にもなれば、平和を守るための道具にもなります。社会に役立つ結果を導き出すのは、豊かな人間性にほかなりません。従業員一人ひとりが自らの人間性を追求し、人格を高めることで、より社会に必要とされる企業に成長することが当社の望みです。

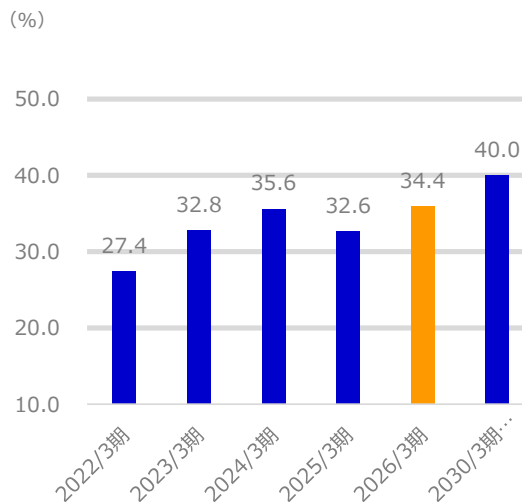
# 取組事例～ダイバーシティ～

現在、当社では様々なバックグラウンドやライフスタイルを持つ従業員が働いております。  
その多様性を活かし、誰もが自己の能力を最大限に発揮できる健全な職場環境を構築いたします。  
特に女性の活躍に関しては、出産、育児といったライフイベントが活躍の支障にならないような職場環境の構築に注力しております。

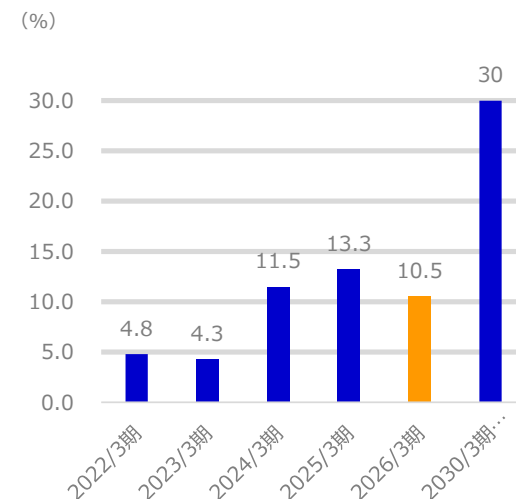
### 女性従業員比率の推移



### 女性従業員の採用比率推移



### 女性管理職推移(課長以上)



## 取組事例～育児休業取得支援～

当社は、社長名で育児休業取得支援方針を周知するとともに、男性従業員への個別育児休業取得意向確認等の施策を継続実施、従業員の育児休業取得推進を行っております。

### 育児支援に関する当社方針

次世代の社会を担う子どもを安心して産み、育てられる職場環境をつくることは、企業に求められる基本的な役割の一つであると考えています。

従業員が仕事と育児を両立しつつ、その能力を十分に発揮できる職場環境づくりに積極的に取り組んでまいります。

代表取締役社長 竹中 英之

### 育児休業取得率の推移

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
女性従業員	100.0%	100.0%	100.0%
男性従業員	66.7%	83.3%	92.9%
合計	77.8%	88.2%	95.5%



# APPENDIX

# 配当方針

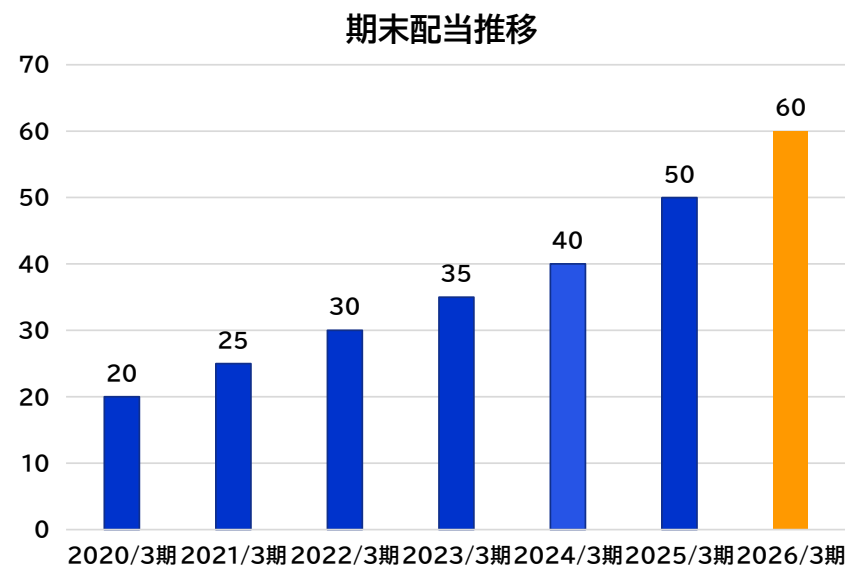
## 1. コンピューターマネージメントの配当方針

株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題のひとつと考え、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

## 2. 配当推移

	1株当たりの配当(円/株)	
	予想	期末配当
2026年3月期	50	60
2025年3月期	40	50
2024年3月期	35	40
2023年3月期	30	35
2022年3月期	20	30
2021年3月期	20	25

※株式分割後基準



# 株主優待制度について

## 1. コンピューターマネージメントの株主優待について

持続的な成長による企業価値の向上と、安定的な配当の継続実施が株価上昇の基本と考えております。

一方で、当社の知名度やブランドイメージの向上を通して、株主数の増強による当社株式の流動性向上の一つの方策として、株主優待制度を設定しております。

今後とも、当社の魅力を高め、より多くの投資家の皆様にご注目いただけるように努めてまいります。

## 2. 株主優待の内容

項目	単元(株数)	優待内容
年間株主優待	1単元(100株)以上	当社オリジナルQUOカード 10,000円分

## 3. 株主優待の基準

2026年9月末日	1単元(100株)以上	当社オリジナルQUOカード 10,000円分
-----------	-------------	---------------------------

# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

現状評価として、次頁の通り、当社のROEは過去5年間の平均で12.3%、当社の資本コスト(WACCベース)は、5.78%と認識しており、資本収益性が資本コストを十分に上回っております。

配当につきましても、7期連続で増配を実施し、配当性向の向上を目指しております。

また、2025年より株主優待制度を新設いたしました。

企業認知度やブランド価値の向上を図ることで、市場における当社の評価向上および資本コストの低減につなげてまいります。今後は、更なる企業価値の向上を目指し、株主や投資家の皆様から当社の企業価値や成長性を適切に評価していただくため、引き続き下記の施策を実施してまいります。

## 1. 企業価値向上のための投資推進

- (1) 成長性の高い新技術を当社の新たな事業として展開すべく、新技術基盤開発室での研究開発を推進します。
- (2) M&A実行体制を構築し、既存事業とのシナジーが見込める案件について検討を進めます。

## 2. 安定的な株主還元の継続

株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題と位置づけ、事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。今後も、短期的な業績変動にとらわれず、安定的な株主還元を実施してまいります。

## 3. IR活動の積極化

事業内容や成長戦略をご理解いただくために、株主や投資家の皆様との対話や情報発信を強化し、企業価値や成長性に見合った株価形成につなげてまいります。

# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

## 諸計数推移(連結)

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
売上高 (千円)	6,233,729	6,491,109	6,930,650	7,194,045	7,902,467	8,235,420
営業利益 (千円)	385,065	493,846	472,657	427,076	514,121	628,967
経常利益 (千円)	397,228	499,027	478,220	434,442	530,556	649,692
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	285,490	353,221	337,657	327,407	397,887	511,812
1株当たり純利益 (円)	140.71	173.90	166.17	160.96	195.43	251.21
ROE(自己資本利益率)	13.2%	14.4%	12.4%	10.8%	11.7%	12.3%
1株当たり純資産額 (円)	1,150.37	1,272.43	1,402.74	1,570.56	1,758.49	2,036.93
PBR(株価純資産倍率)	1.24	1.25	1.08	1.00	1.00	1.43
配当性向	17.8%	17.3%	21.1%	24.9%	25.6%	23.9%
期末株価 (円)	1,429	1,593	1,520	1,574	1,750	2,906

# 「cmkPLUS」を公開中

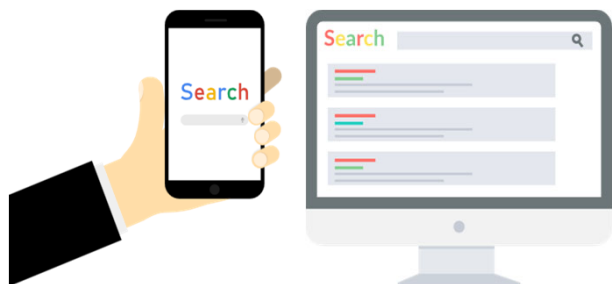
エンドユーザービジネス拡大に向け、コミュニケーションツールとして「cmkPLUS」を公開中

■ 当社ホームページから

<https://www.cmknet.co.jp/>



■ 通常の検索から



## 「cmkPLUS」

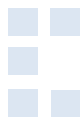
<https://plus.cmknet.co.jp/>

エンドユーザーのお役立ち情報に特化した専用のホームページです。

cmkPLUS  
ITで未来を照らす

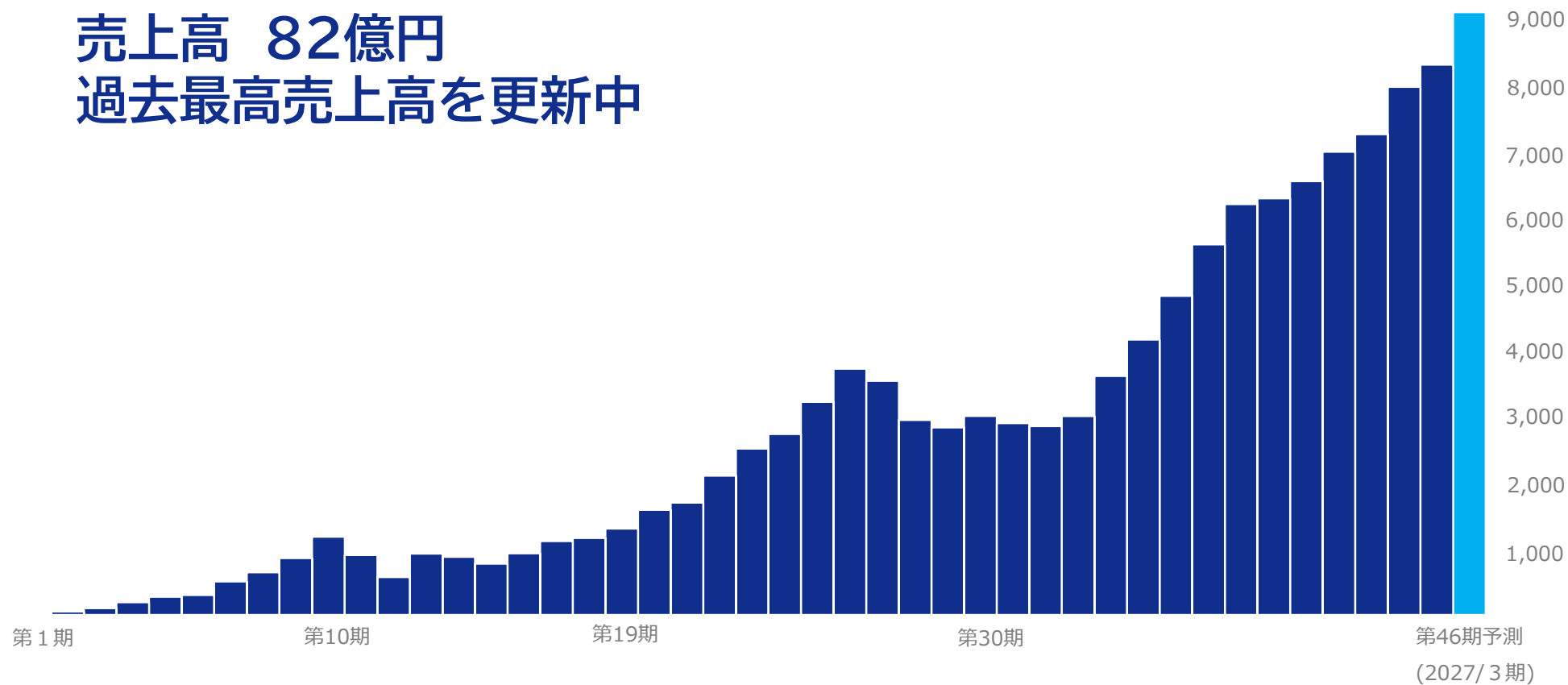
最新IT導入事例 ITトレンド ソリューションサービス サックリ 資料ダウンロード ニュース





## 創業時からの売上高推移

売上高 82億円  
過去最高売上高を更新中



※第20期は決算期変更の為、除く

※第37期より連結

# コンピューターマネージメント株式会社

*Pursuit of the Humanity*

当資料は当社グループの業績及び経営戦略等に関する情報の提供を目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

従いまして、様々な要素によって今後の見通しに変更されることや実際に公表される業績が変動する可能性があります。

当社は当資料を使用されたことに生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。

なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。